

北海道知事と札幌市長あてに 2021年春闘全国統一要求書を提出

建交労北海道本部は4月2日、鈴木直道北海道知事と秋元克広札幌市長あてに「2021年春闘建交労全国統一要求書」を提出しました。要求書では、①雇用・失業対策の強化、②高齢者の雇用・就労機会の拡大、③防災・生活・環境保全優先の公共事業発注、④公契約条例の制定など適正な賃金・労働条件の確保、⑤建設労働者の賃金・労働条件の改善、⑥季節労働者対策の強化、⑦じん肺・アスベスト被害の防止と補償の拡充を求めています。

道本部青年部がオンラインで総会 各地域で青年とのつながりを

3月27日、道本部青年部総会がオンラインで開催され、青年部役員をふくめ全道から5人と道本部・宮澤書記長が参加しました。鈴木青年部長は、昨年度に企画したキャンプなどが延期となり、例年は道本部大会と同日開催していた青年部総会もコロナの影響で開けなかったため、三役会議を重ね、全道の青年の仲間の実態を知るためのアンケートにとりくんだことなどを報告しました。また、新年度方針では、各地域での青年とつながることの重要性や全国青年部への結集などを提案しました。参加者は各支部の青年の状況などを交流するとともに、稲葉事務局次長からは、青年が学習にとりくみやすいよう財政などを含めた検討が必要だとの提起もありました。退任する土屋事務局次長からは、道本部青年部の再結成の経過などが語られ、「これからの組合運動を支えていくのは若者たちなので頑張っ欲しい」と新年度役員にエールが送られました。

新年度役員には青年部長に鈴木互さん（函館支部）を再選し、事務局次長は土屋加奈子さん（十勝建設支部）が退任して新しく稲葉大起さん（札幌合同支部）が選任されました。

道東地方協議会が総会

道東地方協議会は3月17日に総会を開きました。総会では、組合活動の基本である「集まり、話し合う」ことや行動への参加がコロナ禍によってできなくなっていることから、対策をとって何とか打開する思いを共有しました。

建専連との意見交換（続報）

3月29日、河合建設部会長と道本部の宮澤書記長が建専連に要請書を持って訪問し、阿部孝明事務局長と懇談しました。懇談では「資材の流通に関しては昨年ほど問題にはなっていないが、一時期、風力発電関連で中国から鉄骨が入らないなどがあった」「札幌市内のホテルの新築工事などは観光客が減少する中でのシミュレーションの段階で銀行との関係で苦戦を強いられている」など専門工事業者の実態について話されました。「建設キャリアアップシステム」については、利用料の値上げの問題や、登録カードがレベルにより色分けされたことによる再登録で発生する登録料の負担問題、「評価」する人材不足などについて話されました。